

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 5 日

評価対象事業		評価者	道水路管理課担当課長 芳賀 哲夫		
都整-06	実施事業	街路照明灯事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	道水路管理課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	道路整備	施策の方針	道路・橋りょうの整備・維持管理	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	夜間等の通行車両や市民等の安全確保のため。
効果	道路の街路照明灯の良好な維持管理を図る。

2 平成29年度に実施した事業の概要

<p>既存の街路照明灯の維持修繕等を行い、市民が安全な生活を送れるまちづくりを図った。 安全な通行を確保するために街路照明灯の設備整備を行った。</p>
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	人口	176,308人	81,763世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	事業の対象者数				事業の対象者数			
運営資源状況	決算値(千円)	21,486	22,552		当初予算(千円)	24,087		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他				その他			
	一般財源	21,486	22,552		一般財源	24,087		
	人員配置数	1.2	1.2		人員配置数	1.2		
	人件費(千円)	9,302	9,323		人件費(千円)	9,788		
事業経費運営	総事業費(千円)	30,788	31,875		総事業費(千円)	33,875		
	市民1人当りの経費(円)	174	181		市民1人当りの経費(円)	192		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-1. 受益者負担導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				

予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	新設希望への対応や経年劣化への対応としての補助費等の増加が考えられるが、LED化することにより、電気料の節約を図り、予算規模を維持する。
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	既に設置されている全ての街路照明灯のLED化を行うなど、電気料を節約し事業費の削減余地はある。削減した事業費を支柱等の補修等に使用し、予算規模を維持していく。
-------------------	---

平成29年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	照明灯の支柱等の経年劣化に対応する必要がある。	
課題解決のために行った平成29年度の取組	既に設置されている街路照明灯の適正な維持管理を行うため、職員によるパトロールなどを実施した。支柱基部の劣化に対する修繕業務を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	既に設置されている街路照明灯の省エネルギー化を全街路照明灯の93%について実施したが、残りの街路照明灯の省エネルギー化も図る必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	省エネルギー・LED化					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
省エネルギータイプ及びLED化を行い、電気料を節約する。	目標値	1,264	1,270	1,274	1,272					
	実績値	499	499	1,175	1,178					
	達成率	39.5%	39.3%	92.2%	92.6%					

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	
-----------------------	--